

## 冬の九十九里

砂浜に影が伸びて  
寄せては返す激しい波が  
静けさの中胸に響く  
確かな命感じるひととき

両手広げて薄紅浴びて  
自分の長い影を作る  
その後ろに遠くの雲  
ゆっくりと朱色に染まる

冬の夕日海の中に  
そっと触れる九十九里の  
浜に静かな金色の風  
その風だけはどこかあたたかく感じる

波は薄紅をまとって  
寄せては返すとまることなく  
静けさの中胸に響く  
永遠の音感じるひととき

今日の夜はいつもと違う  
綺麗な星空の下  
胸の奥の凍ったもの  
ゆっくり溶かしていく

人もまばらな海岸線を  
そっと優しく九十九里の  
浜に足跡つけるたびに  
心の奥のざわめきをさらってゆく

冬の夕日海の中に  
そっと触れる九十九里の  
浜に静かな金色の風  
その風だけはどこかあたたかく感じる